

第1回守山駅東口再整備基本計画策定委員会 摘録

日時：令和5年8月4日（金）午後2時から午後3時30分

場所：市役所 新庁舎2階 防災会議室

14：00

【市長挨拶】

本日は、第1回守山駅東口再整備基本計画策定委員会にご参加いただきましてありがとうございます。

守山駅東口には村田製作所の研究開発拠点の開業が予定されており、周辺の交通状況に大きな変化が起きるものと考えております。また、一方で従業員様や、関連企業様も含めて多くの方が守山駅東口に訪れていただけることは大きなチャンスでもあります。そのため、守山駅東口全体のあり方や、西口との連携を含めてしっかりと議論、検討していく必要がございます。

これまでの取組としましては、令和4年度に守山駅東口再整備基本構想を取りまとめており、基本構想では、東口における再整備のコンセプトや、土地利用ゾーニングなどを検討しておりますが、この内容に囚われることなく、しっかりと議論を重ねるなかで、守山駅東口再整備基本計画を策定していきたいと考えておりますので、委員の皆様には様々な分野や立場からの忌憚のないご意見を賜りたいと思います。

最後になりますが、東口の再整備はJR守山駅周辺の活性化に対して大事なプロジェクトになるばかりではなく、将来の守山市全体の活性化についても非常に大きな影響を持つプロジェクトであります。是非皆様方の今までの経験、知見、感性で多くのご意見を賜ればと思っておりますので、本実はどうぞよろしくお願いいたします。

14：10

【委員紹介】

14：20

【会長および副会長の選任】

会長 立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授 塩見 康博

副会長 立命館大学 理工学部 環境都市デザイン学科 准教授 阿部 俊彦
が選任された。

14：30

協議内容1 守山駅東口再整備基本構想について

【主な意見】

○再整備にあたっては、地域住民に支障がないようにするのが重要なポイントである。

○最近の駅前広場のあり方を考えると、交通広場なので、アスファルトの部分が多いと思うが、憩いの広場が様々な施設に囲まれているように、いかに人が歩いて憩える場所にすることが重要なポイントである。

○ウォークブルの観点から、何を目的に公共空間、オープンスペースを提供していくかという点が重要である。オープンスペースと建物を分けるのではなく、1階が路面店だとオープンカフェのような人の動きが見える楽しい空間ができる。

○現在に西口は渋滞が発生している。東口の人流が増えると、西口と同じ状況になることを危惧していることから、交通機能の部分については優先して検討していただきたい。西口では公共交通を分けることでスムーズにしている部分は感じている。

○東西をつなぐペDESTリアンデッキの設置については、昔はこの場所に駅があり、ペDESTリアンデッキの延長線上にメインストリートがあった。今はホテル通り商店街があって、飲食店の出店が多くなってきている。また、歩行者専用道路になっており、マルシェが開催されたりと、最近は賑やかになってきている。ぜひコンセプトに、もともとはここが守山の顔だったということを入れてほしい。

○B・C案の憩いの広場について、例えば、JR茨木駅のスカイパレットや、JR川西池田駅のデッキには、マルシェの実施により賑わいがある空間となっている。守山駅西口でのマルシェは難しいものがあるので、東口でマルシェ等のイベントができればいいと思う。

○交通空間の機能は維持する必要があるが、駅まち空間デザインの指針にもあるように賑わいについて、協力していきたいと考えている。賑わいについては、加古川市でも社会実験的に道路法の特例を使って賑わいを目指している事例もある。

○国土交通省では「駅前広場」という単体での考え方ではなく、「駅まち空間」というとらえ方を推奨している。守山駅東口再整備を考えるにあたっては、西口・東口を含めて、駅全体のビジョンを考える中で、東口に落とし込んでいくという考え方で進めていただきたい。

○制約条件をもう少し明確にしていきたい。土地や予算など、どのような制約条件の範囲内で議論していくのかを明確にさせていただくと議論がしやすいと思う。

14：50

協議内容2 守山駅東口再整備基本計画の策定に向けた全体スケジュールについて

協議内容3 市民等からの意見聴取の実施概要について

【主な意見】

○今日アンケート調査票の内容について議論するのであれば、事前に資料を送ってほしい。

○アンケート調査票のQ8の選択肢に「モーリーカー」があれば、より具体的な意見が出てくるかと思う。「モーリーカー」を公共交通の重要な位置付けとし考えて、アンケートの内容を精査していただきたい。

○守山にある企業にアンケートは考えていないのか。もし、東口で渋滞が発生すると、西口にも影響が出てきて渋滞が拡散する可能性が考えられるので、様々なところからアンケートを取り、意見集約するのが良い。

○アンケートの質問数が多く、若年層にとっては書いてあることが難しいかと思う。駅で学生に配布するときには、簡易版等で工夫してみてもどうか。

○村田製作所の社員に対して「どんな駅ならもっと利用するか」や「どういう駅を望んでいるか」など、アンケートを実施してみてもどうか。

○ワークショップについて、東口を利用しているのは2自治会だけでなく、5自治会ある。新しい住宅地もあるので、将来的なことも考えて整備することを考えると、5自治会を対象にワークショップを実施していただけると、様々な意見が出てくるかと思う。

○地権者は4者かと思うが、民間事業者のヒアリングや第2回委員会開催を待つことなく、市民のために協力するという部分を詰めてから、2回目の委員会を開催できればと思う。